○柳田由藏氏，臺灣總督府朝鮮總督府にあつては多數標品を採集され又農林省林業試驗場につとめられては「稚苗圖說」を執筆された氏は昭和 20 年6月3日逝去された。昭和 20 年6月 24 日には林業試驗場は戰災により一部燒失，氏の貴重なる標品3萬點は共に灰燼に歸した。

○吉永虎馬氏，土佐にあつてたえず植物分類學のために貢獻された氏は昭和 21 年2月23 日逝去された。氏の標品圖書の一部は服部植物研究所に收められた。

○川村清一氏，菌類研究家として高名の氏は 21 年3月 11 日逝去された。

○梅村甚太郎氏，名古屋の本草學の權威として著名の氏は 21 年3月 21 日逝去された。同氏所有の本草學の貴重な標品と史料とは名古屋帝大理學部植物學教室に保管されてあつたが惜しいことに戰災で燒失した。

○鳥羽源藏氏，東北植物の研究家たる氏は 21 年5月 25 日死去された。

○福山伯明氏，臺北帝國大學にあつて蘭科植物の研究家であつた氏は 21 年8月自動車事故のため亡くなられた。

○岡田要之助氏，東北帝國大學教授であつた氏は 21 年8月5日逝去された。

○田代善太郎氏，植物採集家として知られ植物分布に精進されていた氏は 21 年2月 20日逝去された。氏の多量の標品の多くは京都大學理學部植物學教室に保存されている。

○松野重太郎（輪水）氏，神奈川縣植物目錄の著者で横濱植物會の重鎭であつた氏は 22年5月7日逝去された。享年 80 歲。

海外學者の死去

○A. C. Seward 氏（1864-1941）英國の植物化石學者として著名な氏は 1941 年4月 11日死去した。

○A. W. Hill 氏（1875-1941）1922 年以來英國キュー植物園長であつたが，事故の爲，1941 年 11 月3日死去した。

○C. F. A. Christensen 氏（1872～1942）デンマルクの羊齒學者で，Index Filicum の著者として有名である。

○C. J. Chamberlain 氏（1863～1943）シカゴ大學名譽教授であり形態學者として著名であるが，生前に Cycadaceae のモノグラフを準備して居たと云ふ。

○W. A. Setchell 氏（1864～1943）海藻學者として特に太平洋の海藻に就て第一人者であり，多年カリフォルニア大學植物學部主任であつた。又植物地理學に關しても深い關心を持つて居た。